

# 十勝組だより

## 第21号

発行所  
音更町西町寺内  
十勝組々長事務所  
発行人  
白木 幸久  
題字 押毫 住職 鴨 氏  
妙覚寺 脇谷



### 「副組長つて、 結構大変でーすの巻」



副組長  
桃井 直行

近頃、年を取ったせいか時間が経つのがやたらと早く感じます。「最近、何か時間が経つのが早いねー。気がついたらもう半年たったもんねー。一年なんてアツという間だね」などと、おぼちゃま達と適当に話を合わせていましたが、まさか自分がそのように感じる年齢になるとは……。昔は、特に学校に通ってる頃は、一時間の授業の長いこと。一日の、一年の長いこと。いつも思っていたことは、「早く休みにならないかなあ〜」でした。つまらないときは、時間が経つのが遅いようです。人間、楽しい事だと時間が経つのを忘れるとい

います。もう一つ、忙しすぎるとアツという間には過ぎてゆきます。最近、何故だか色々な役職が私に廻ってきます。札幌にも一カ月に何度も通ってます。会議、研修会、勉強会、そして「大切な飲み会」。結構大忙しです。

そうそう、十勝組の副組長といつても私の仕事は庶務というより雑務です。各種合等の案内状作成や、議事録、報告書の作成、配布物や資料の発送など「十勝組のなんでも屋」です。打って、刷って、折って、切って、詰めて、貼って、出して……ハイお疲れ様。これの繰り返しです。

おかげさまで、皆様に支えられながら、正しくアツという間の一年間でした。今後とも私が生き長らえるように、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

合 掌

### 「一年を振り返って」



副組長  
千葉 照映

平成十九年度より白木組長を中心に新しい教化活動がスタートした訳であります。初めて副組長(会計)という立場で関わりを持たせて頂き、この一年間つくづく先輩員の皆様方のご苦勞を思い知らされた事であり。前任者に何回何十回電話をかけた事か、戸惑うばかりの一年間でありました。正直とんでもない役を受けてしまったもんだ！という思いでした。伝票整理に時間はかかるし、計算は合わなくなる。帳簿付けにも手間がかかる、落ち着いて酒も飲めてしない(まいったな〜)今、一年が過ぎ、パソコンのエクセルを初めて使っている自分に

### 「報告と予定」

総代会部

藤原 昇典

組内僧侶、総代、門信徒皆様には、日頃より総代会活動にご理解を頂き深く感謝申し上げます。

総代会部長としてアツという間の一年を過ごしました。どこかの寺報の標語に『朝は希望に起き、昼は愉快に働き、夜は感謝に眠る』とありましたが、私はいつも余裕のない日々の繰り返しの毎日です。

合 掌

総代会各事業推進のため、総代会会長今江様、他副会長、総務の方々、部員の協力で何とか務めさせて頂いています。

早く参加頂いている各寺代表の総代の皆様方には心からお礼申し上げます。

た。た昨年十一月八日に会計として総代会を支えて頂いていた豊頓・大正寺の田村翼人さんが往生の素懐を遂げられました。これまでのご功勞に感謝申し上げます。

本年度のCプロック門徒総代研修会が根室組当番で、七月二十八日・二十九日に中標津にて開催されます。組内各寺院にもご案内を送らせて頂きますので、各寺院の皆様方には総代会の研修会等と共に参加協力をよろしくお願い致します。

## 「報告」

壮年会部  
上本 周司

五月十二日、十勝組仏教壮年会連絡協議会の創立二十周年記念式典が帯広別院で開催されました。八十余名の参加のもと、光心寺の桃井信之氏を迎え「人生は長さに



あらじ」というテーマで講演をいただきました。また、記念誌も役員さん達のご苦勞のもと無事発行出来ました。十一月一回パークゴルフ大会が、六月二十五日に音更町鈴蘭川緑地パークゴルフ場で行われました。今年の担当は妙法寺の仏壮の方々にあ世話になり、八十五名の参加がありました。

これからも色々な行事を通して、僧侶門信徒一丸となつて、お念仏申す朋友の輪を拡げたいと思います。

## 「一年を振り返って」

青少年部  
佐藤 誠

新入部員数名が加わり、今後の方向性を協議、試行錯誤ながら「部員のための研修会」を昨年十二月

六日に実施致しました。ご講師は空南組警報寺坊守の天野敦子氏(現全国少年連盟理事長)にお願ひ致しました。お話の中で天野氏は、日曜学校の行事として、影絵劇や人形劇の取り組みを取り上げ、協力者の依頼から未開催寺院への呼びかけまで、活動の苦勞や問題点などの提起をしていただきました。

その中で、「自分達が子ども達にも伝えてあげることが大切だ」という言葉が印象的でした。十勝組においても、地道に「住職、坊守、寺族合同研修会」を通して青少年教化が推進されていくべきであるとも考えます。

## 組仏教婦人会報告



組仏婦連協 一夜研修会

四月七日、十勝組仏教婦人会連絡協議会の総会並びに一夜研修会が十勝川温泉親月苑ホテルにて開催されました。総数二百三十七(宿泊百六十九 懇親三十 講三十八)名参加がありました。ご講師には、空知北組「西英寺」宮川秀憲氏をお迎えし「仏教史上類をみない弾圧事件―承元の法難―八百年を迎えて」というテーマのもと講演を頂きました。また、講演のほか、関東より京都に戻られた親鸞聖人に思いを馳せながら、恵信尼公が聖人を回想してゆく朗読劇が催され、参加者の涙を誘う場面もありました。



組仏婦連協 総会

また七月四日には、組仏婦大会が帯広別院にて開催される予定です。

合掌

## 寺族婦人部

四月三十日、本願寺帯広別院にて春の研修会を皮切りに今年度の寺族婦人会の活動がはじまりました。

研修会では、日頃お檀家の方や地域の方と接する機会の多い中で、坊守として何か役に立てることがあるのではないかと、ということ、「こころの健康」をテーマに、精神衛生のお話を聞かせて頂きました。

また、六月三十日には日帰りの親睦旅行を行い、秋には研修会、来春には総会・新年会を予定しております。

来年は「寺族婦人会創立五十周年」を迎えることになり、會員の皆様のお力添えを頂きながら取り組んで参りたいと思っております。

合掌

## 「着任挨拶」



本願寺帯広別院輪番  
廣岡 隆圓

このたび、ご本山の命により四月一日付で本願寺帯広別院の輪

番を拝命し着任させて頂きました。北海道の地は初めてではございませんで、こちらに赴任させて頂く

前は、本願寺函館別院に一年四月、輪番として勤めさせて頂いておりました。かねがね帯広は北海道の中でも、最も寒いところのひとつと聞いております。十勝平野は広さは比べものにはなりません

が、盆地に囲まれての地形は私の故郷によく似ています。故郷に帰ってきたような感じがいたします。

風光明媚なこの帯広に赴任させて頂き、立派に務められ難く思うかの不安もあります。本願寺帯広別院は

十勝開拓と同時にその歴史が始まったとお聞かせ頂いております。この度創立百周年のご法要を、ご主様が親修のもと盛大にお勤めされたことであります。このような

歴史のある別院に着任させて頂いたことについて、身の引き締まる思いが致します。何せ浅学非才の私ではあります。先人の皆様のご苦勞をしっかりと受け止め、ご

協力を賜わりながら実直に真面目に宗務に励み、お念仏繁盛のために邁進させて頂きたいと思っております。これから何とぞ宜しくお

願い致します。

合掌

## 「身近な所から

## はじめよう！」

「阿弥陀さまのご縁づくり、取り組みましょう『キッズサンガ』



相談員  
高田 芳行

平成十七年度から始められた親鸞聖人七百五十回大遠忌宗門長期計画の重点項目に「次代を担う「人」の育成」が掲げられています。

特にみ教えとのご縁が疎遠になりがちな青少年を対象とした新たな方策に「キッズサンガ」の実施・推進があります。『子どもの声が

聞こえるお寺、お寺を子どもの居場所』を願いとした活動です。門信徒用リーフレットに『キッズサンガ』は、子どもたちの置かれて

いる状況を考える時、私達が直ちに取り組まなければならない課題です。また「寺離れ」の現代

に生きる青少年へのこうしたアプローチは、これからの先を見据えた重要な教化活動でもあります。『キッズサンガ』が実施される中で、お寺が子どもから大人までが集う

真の「サンガ」となり、阿弥陀さ

まのおこころがすべての人に届くことを願いとしています」とあります。各寺院へもポスター、パンフレット、ガイドブック等が届けられています。

従来、宗派では少年連盟を中心にして日曜学校、土曜学校、子ども会活動を通して少年教化活動に取り組んできました。ともすると少年教化は少年連盟の仕事という意識があり、少年教化への思いを

全寺院で共有することが出来ない状況があります。

この現状を改善していくため全寺院において二〇一一(平成二十三)年までに、各寺院適したやりかたで「キッズサンガ」の実施を

目指しています。

十勝組には「キッズサンガ」実施・推進のための役割を担って下さっている方々があります。少年教化アドバイザーに仏照寺藤本実円氏、少年教化サポーターに西然寺

白木幸久氏、光心寺桃井直行氏、光音寺頼田亨氏、東光寺豊田信英氏です。少年連盟理事に白井教生氏。また、少年連盟加盟寺院は妙法寺様、宝照寺様、仏照寺様、願

恵寺様、帯広別院様です。少年連盟に加盟していない寺院でも子ども集いの開催しているお寺もあ

りましょう。

組内各寺院の皆様においては『キッズサンガ』実施の事で分らないことがあれば少年教化諸役各氏並びに少年連盟加盟寺院、子どもの集い開催寺院に相談したり連携をとりながら実施への取り組みを進めていただきたいと思います。

組の青少年部においても昨年度は教区少年連盟指導者研修会への参加、青少年部研修会の開催により少年教化のための研鑽を深めていただいております。青少年部の「子どもの集い」他諸活動にご参加いただくことも、各寺院で『キッズサンガ』を推進していくためのエネルギーをいただけると思います。

自坊の大正寺では七月三十日、三十一日に『キッズサンガ』く大正寺お泊り会くを開催する計画を立て、企画段階から総代・青壮年会・婦人会の方々に加わってもらい、現在準備を進めています。お寺でのお泊まり会は初めての経験ですが、門信徒の皆さんと協力しながら取り進むことで、「子どもたちの笑顔」と「動きのあるあたたかいお寺」を作っていくために汗を流していきたくと思っています。取り組むことにより新しい課題が浮かびあがってきます。その課題を門信徒の皆さんと共有し、一歩ずつ前に進んで行きたいと思っています。まずは身近な所からはじめていきましょう！

『キッズサンガ』キッズは「子どもたち」、サンガは「仏教徒の集団」。これをあわせて造語で「お寺に集う子どもたち」という意味です。

## 研修部

研修部担当 脇谷 曉融

二〇〇八年度における研修部の予定は、「十勝組基幹運動推進僧侶研修会」を、十月二十一日、二十二日、十勝川温泉で計画しています。

講師には、第一連区担当の中央相談員、東京教区・宮本義宣氏をお招きして、現在推進している基幹運動のあり方を第IV期僧研ノートを通し、一人ひとりの課題を明らかにしていければと考えています。さらに年間三万人を超える自死の問題等を中心に講義を頂く予定です。

また、第八期連研（門徒推進員養成連続研修会）開催のために二〇〇七年度に二回の準備会を行いました。引き続き準備会を開催し、具体的な募集要項・カリキュラムを決定し、年度内後半にはスタートさせる計画です。第八期連研は、六プロック合同で帯広別院での開催を予定しており、これに関わるスタッフは研修部のみならず、若手僧侶の実践の場として組内からどなたでも参画を可能としていきたいと考えております。

さらに、テレホン法話集「一粒の涙を抱いて」第二集・五百部の発刊を前半期に計画しました。三月に発刊した第一集の評価点検、あるいはご意見を頂く中で、より良いものを目指しています。同時に現在運営中のテレホン法話は、四月にご案内の通り、法話当番順に進行しており、長年使い続けた機器を入れ換え、デジタルメモリ録音で新たにスタートしています。組内各位におかれましては今後も十分なご支援ご協力をよろしくお願い致します。

合掌

## 十勝組・帯広別院テレホン法話 当番担当表 2008(平成20)年度

7月1日	藤本 実円	7月16日	真経寺 賀陽 真哉
7月16日	大船寺 三浦 敬信	8月16日	義教寺 梅原貞依子
8月16日	妙覚寺 脇谷 曉融	9月16日	信行寺 関西 信行
9月16日	増山 孝信	10月16日	光心寺 信之
10月16日	鈴木 克彦	11月16日	白井 公敏
11月16日	高久 教仁	12月16日	芳流 智仁
12月16日	隆圓	1月16日	西原寺 白木 幸久
1月16日	御幸 誓見	2月16日	千葉 照映
2月16日	直行	3月16日	高田 芳行
3月16日	石田 智秀	4月16日	

☆宗門目標 御同朋の社会をめざして  
☆スローガン ともにいのちかがやく世界へ

テレホン法話 (0155)21-7777  
十勝組ホームページ <http://www.tokachiso.com>  
北海道教区ホームページ <http://www.hokkaidohongwanji.jp>  
〔IDは寺院番号6ケタ、パスワードは教区時報第194号に各寺同封〕

## 編集後記

十勝組だよりの第二十一号をお届けいたします。本年度より発刊を六月としました。今号は年度始めということもあり、報告と予定が主でした。他に帯広別院のご輪番の着任挨拶、組相談員の高山氏に載った『キッズサンガ』の特集は今後回にかわたり掲載していきます。

また、次号より各種研修会等の参加者に感想や意見を頂き、掲載いたします。各部長さんには特段のご協力をお願いいたします。